

5.2.重複状況の確認（旧新判別フラグの設定）

- 資格重複結果ファイルには、自保険者の加入者情報と、重複先の加入者情報が含まれます。以下2つの項目から自保険者の資格の重複状況を確認してください。

i. 「資格取得日」「資格取得日（重複先）」

自保険者と重複先の保険者の「資格取得日」「資格取得日（重複先）」を比較し、自保険者が新保険者・旧保険者のどちらかに該当するかを確認し、必要に応じて「旧新判別フラグ」等の項目を追加して判別結果を設定します。
（詳細は次ページ参照）

ii. 「期間経過フラグ」

資格取得日から最新の加入者情報の資格取得日から31日以上経過した場合（重複状態が31日以上経過している場合）に「1」が設定されます。

資格重複結果ファイルの見方

資格重複結果ファイル（イメージ）

自保険者の加入者情報							
出カケース	重複チェック実施日	保険者番号	記号	番号	枝番	資格取得日	氏名
①資格喪失処理漏れの検出（他保険者との重複）	2019-02-12	0613XXX1	5	10	1	2018-02-03	〇〇 太郎
②資格喪失処理漏れの検出（自保険者での重複）	2019-02-12	0613XXX1	10	20	1	2018-03-01	◇◇ 五郎
	2019-02-12	0613XXX1	15	30	1	2019-02-05	◇◇ 五郎

保険者番号 （重複先）	記号 （重複先）	番号 （重複先）	枝番 （重複先）	資格取得日 （重複先）	氏名 （重複先）	期間経過 フラグ
0113XXXX	20	40	1	2017-04-13		1
0613XXX1	15	30	1	2019-02-05		0
0613XXX1	10	20	1	2018-03-01		0

システム付与情報
重複チェック実施日が、最新の加入者情報の資格取得日から30日を超えている場合に、1を付与する。

※設定している値、桁数は簡略化

5.3.パターンの分類

- 「資格取得日」から、該当の資格情報の加入先保険者の旧新を判別します。

a. 「資格取得日」と「資格取得日（重複先）」を以下のような関数で任意のセルに挿入します（項目名は任意ですが、本資料では「旧/新判別」とします）。

※関数の例

=IF(「資格取得日」セル<「資格取得日（重複先）」セル, "旧", "新")

b. 「期間経過フラグ」及びaで作成した「旧/新判別」項目にフィルターを設定します。

c. bで設定したフィルターを用いて、「旧新判別フラグ」と「期間経過フラグ」から資格重複のパターン分類が可能となります。

IF(自保険者の「資格取得年月日」セル<重複先の「資格取得年月日」セル, "旧", "新")

資格取得日	資格取得日(重複先)
2012-04-01	2021-03-01
1989-05-01	1989-05-01
2005-10-01	2021-04-01
2021-04-01	1993-04-01

自保険者

重複先

イメージ

旧/新判別
旧
新
旧
新

自保険者の資格取得日と重複先の資格取得日に関数で比較し、自保険者が新・旧どちらの保険者かを判別

期間経過フラグ	旧/新判別
1	旧
0	新
0	旧
1	新

項目を選択して「データ」タブから「フィルター」押下



重複解消に向けた対応する上で、適宜、フィルターで該当データを抽出する

期間経過フラグ	旧/新判別	
1	旧	旧側の保険者
0	新	新側の保険者
0	旧	
1	新	